

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書
【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称 福山地域活性家BINGO

グループの名称 快適な備後の家をつくる会

直近採択グループ番号 06-0164-0642

(グループ代表者)

代表者名 森本 浩之 代表者印
代表者所属先 株式会社森本製材所
代表者所在地 広島県福山市新浜町1丁目3番44号
代表者電話番号 084-983-1620

(グループ事務局)

事務局事業者名 株式会社森本製材所
事務局担当者名 森本 康之 印
事務局郵便番号 721-0951
事務局所在地 広島県福山市新浜町1丁目3番44号
事務局電話番号 084-983-1620
事務局FAX 084-983-1621
事務局担当者E-mail ym@m-seizai.com

1. 地域型住宅の名称(必須)	福山地域活性化家BINGO
2. グループの名称(必須)	快適な備後の家をつくる会
3. 直近採択グループ番号(必須)	06-0164-0642
4. 地域型住宅供給対象地域(必須)	広島県・岡山県 備後地域
5. 結成年(必須)	2012 年
6. グループ代表者名(必須)	森本 浩之
7. グループ代表者の所属先(必須)	株式会社森本製材所
8. グループ代表者所在地(必須)	広島県福山市新浜町1丁目3番44号
9. グループ代表者電話番号(必須)	084-983-1620
10. グループ事務局事業者名(必須)	株式会社森本製材所
11. グループ事務局担当者名(必須)	森本 康之
12. グループ事務局郵便番号(必須)	721-0951
13. グループ事務局所在地(必須)	広島県福山市新浜町1丁目3番44号
14. グループ事務局電話番号(必須)	084-983-1620
15. グループ事務局FAX番号(必須)	084-983-1621
16. グループ事務局担当者E-mail(必須)	ym@m-seizai.com

(構成員数)		(構成員を含まない理由)
I. 原木供給	5	供給業者が海外のため、必要とされる本社の法人登記及び念書の入手が不可能なため登録を行っていない。
II. 製材・集成材製造・合板製造	6	
III. 建材流通(木材を扱わない事業者を除く)	12	
IV. プレカット	4	
V. 設計	1	
VI. 施工	19	
VII. 木材を扱わない流通	1	
VIII. I～VII以外の業種	1	

A. 使用する地域材に関する事項 (必須)	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称		国内・国外	
			番号記入欄			
<input checked="" type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する <input checked="" type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する <input type="checkbox"/> PEFC認証制度を利用する <input checked="" type="checkbox"/> PEFC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> SGEC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FSC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FSC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FIPIC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> クリーンウッド法に基づく証明 <input type="checkbox"/> クリーンウッド法に基づく証明			※以下該当の1、2、3の番号を番号記入欄に記入してください。 1.都道府県の産地認証制度等によるもの 2.民間の第三者機関による認証制度(FSC、PEFC、SGEC等) 3.林野庁作成の「木材・木製品」の合法性、持続可能性のためのガイドライン(平成16年2月)に基づき合法性が証明されるもの 4.クリーンウッドに基づき合法であることが確認された木材・木製品(合法伐採木材等証明)			
		国産材		3	国内	
		外材		3	国外	
		国産材		2	国内	
		外材		2	国外	
		国産材		2	国内	
		国産材		2	国内	
		外材		2	国外	
		国産材		2	国内	
		国産材		4	国内	
		外材		4	国外	
	広島県産材	広島県	広島県産材産地証明制度	1	国内	
	岡山県産材	岡山県	おかやまの木で家づくり推進事業	1	国内	
	米材	北米	合法木材証明制度	3	国外	
広島県産材	広島県	合法木材証明制度	3	国内		
岡山県産材	岡山県	合法木材証明制度	3	国内		

B. 平成30年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		4	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	4	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		3	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	3	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
	長寿命型	長期優良住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		18	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	18	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		4	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	4	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
		認定低炭素住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		2	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	2	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		2	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	2	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
性能向上計画認定住宅		経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
性能向上計画認定住宅		未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		2	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	2	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		2	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	2	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限125万円)		0	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸				
			上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸				
		その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)		0	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸				
ゼロ・エネルギー住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限140万円)		8	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	8	戸				
			上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸				
		その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)		5	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	5	戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸				
C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数		今年度要望する棟数及び面積		0	棟			
					0	m ²			
			その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積		0	棟			
					0	m ²			
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	☆構成員への均等化した配分を目標に、グループ施工店の各1棟以上を目指す。希望が多数の際は前年度の配分を考慮する。								
E. 平成29年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)								
	採択戸数	10	戸	交付申請戸数	9	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	9	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)								
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)								
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)								
採択戸数	3	戸	交付申請戸数	2	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	2	戸	
優良建築物型									
採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0	戸	
採択床面積	0	m ²	交付申請床面積	0	m ²	完了実績(竣工予定含む)床面積	0	m ²	

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 福山地域活性化家BINGO	(地域型住宅供給対象地域) 広島県・岡山県 備後地域
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 快適な備後の家をつくる会	(結成年) 2012 年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	06-0164-0642	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	備後地域の温暖な気候風土を活かし、エネルギー削減のためHEMS導入を推奨しエネルギー管理をする。また省エネ基準に基づき外皮(UA値、一次エネルギー消費量)性能と高効率設備を推奨する。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	広島県・岡山県は有数の木材産地であります。地域材を使用した木造軸組工法を基に、主要構造材(柱・梁桁・土台)の70%以上を使用する。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	温暖な気候風土を活かし、自立循環型住宅への設計ガイドラインによりウインドキャッチによる自然風の利用、冬季の日射熱の利用、夏季の日射遮断手法を考慮する。太陽光発電など自家消費のエネルギー発電を推奨する。	○
④①～③の背景	広島県・岡山県は温暖な気候と瀬戸内海・中国山地の自然に恵まれています。瀬戸内地域は全国有数の日射時間を確保でき、太陽光を有効に活用できます。中国山地は有数の林業・木材の生産地でもあります。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	備後地域は木工産業(府中家具)が盛んであります。これらの地産産業の活性化として、造作材仕上げ材に地域加工品を積極的に活用し必須選択とします。	◎

イ. 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備

【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: JAS認定または各地認証制度を受けた地域材(製材・集成材)とする。	◎
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: HEMS設置については、グループ共通資材を使用すること推奨する。	◎
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 地産産業の地域加工品(宏栄産業商品)を標準仕様とする。	◎
②-1 建材・資材調達の見直し	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 施工構成員への共通資材リストを作成。	◎
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 資材選定委員会がグループ推奨品を選定。	◎
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 事務局・販売店(加盟流通構成員)による資材選定委員会を設置、地域型住宅に使用する建材・設備機器の選定を行う。	○
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 資材選定委員会の運営ならびに、建材・資材メーカーとの商品研修などの実施による連携を図る。	◎
b		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: グループで定める標準仕様・施工マニュアルを作成。	◎
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 地域材における認証書・木拾い表・納品伝票の添付書類を事務局が確認する。共通資材リストのチェックリストによる使用状況を事務局にて確認をする。	○
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: グループとしての標準・積算に取組み消費者への適正価格の提示における施工店の広報活動を促進する。	◎
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 各会員に当グループに対する意見会・交流会を実施し、当グループへの取組み・目的を一層認知してもらう。	◎
c		
① 週休2日制の導入の取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 働き方改革の促進のため、各構成員に週休2日制を働きかけ推奨する。	○
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 省エネ技術者講習の必須とグループによる技術講習の実施。	◎
③ 社会保険への加入	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: グループより社会保険加入促進をする。	◎
④ 安全及び健康の確保のための取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: グループによる安全講習の実施	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	標準仕様書・共通資材リストによる担保。またチェックリストによる使用状況の確認を事務局にて行いグループ(事務局・流通販売店)による建材・住設メーカーとの連携を図り、共通資材コストの削減をする。	◎

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 福山地域活性化家BINGO	(地域型住宅供給対象地域) 広島県・岡山県 備後地域	
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 快適な備後の家をつくる会	(結成年) 2012 年	
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0164-0642		
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取り組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。			
ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備			
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄	
a	① 住宅履歴情報の蓄積	①-1 内容・蓄積の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 共通の住宅履歴管理システムを活用し、定期点検・メンテナンスの実施。	○
		①-2 情報サービス機関の活用 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: JKサポートセンターの提供による情報サービス。	◎
		①-3 履歴情報蓄積の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: JKサポートセンターと事務局による維持管理委員会の設置により確認	○
	② メンテナンス基準	②-1 点検の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 維持管理委員会により点検事項に対するグループ内の共通ルールを作成。	○
		②-2 補修の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 維持管理委員会により補修事項に対するグループ内の共通ルールを作成。	○
		②-3 点検補修実施の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: JKサポートセンターと事務局による維持管理委員会の設置により確認。	○
	③ 住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: JKサポートセンターによる、施工構成員に対して住まい管理の勉強会を開催する。	◎
		③-2 DIY体験会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施工構成員によるDIY体験会を定期的に計画し実施する。	○
		③-3 その他の相談会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施工構成員による一般者向けの住まいに関する相談会を定期的に計画し実施する。	○
	④ 維持管理委員会等の設置 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: JKサポートセンターと事務局による維持管理委員会設置。	○	
⑤ その他の維持管理の手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 一般社団法人住宅管理・ストック推進協会からの情報を受け生活基本法に則した運営を行う。	○		
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ内の共通の住宅管理システムを基にグループとしてバックアップ体制をとります。	○	
	② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: JKサポートセンターにより瑕疵担保について勉強会を実施。	○	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		住宅履歴管理システムとグループ内の共通ルールによる情報管理の徹底。	○
エ. グループの技術力の向上			
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄	
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: JKサポートセンターによる地域住宅の仕様説明会・技術研修会参加への義務化。	◎	
	②-1 品質管理のための共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: JKサポートセンターと事務局により設計・施工に関わる共通ルールを作成。	○	
	②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: JKサポートセンターと事務局により設計図書及び現場への検査を実施。	○	
	③-1 需給計画の策定 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 各構成員への聞き取りにより事務局が受給計画を策定し情報開示をする。	◎	
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施工構成員へ標準仕様・施工マニュアルの勉強会及び施工研修を実施	○	
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施工会員に対する技術研修の体制強化及び流通会員による省エネ関係の最新情報を発信。	○	
	b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数 昨年度までの終了者数 今年度の参加目標人数	○
①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数 昨年度までの終了者数 今年度の参加目標人数		○	
② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局より技術講習会の案内の周知徹底と省エネ技術に関する勉強会を実施。		◎	
c	① 新たな技術等の導入 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅資材メーカーとの情報交換により定期的に最新技術の情報公開を施工会員に行う。	◎	
	② 新たな技術等の開発 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅資材メーカーの最新技術を研修で認知のうえ、施工会員に現場での実施を推奨する。	○	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		地域型住宅の仕様説明会・長期優良住宅研修会の義務付け。事務局による説明会・研修会の運営・管理。	○

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 福山地域活性家BINGO	(地域型住宅供給対象地域) 広島県・岡山県 備後地域													
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 快適な備後の家をつくる会	(結成年) 2012 年													
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0164-0642														
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取り組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。															
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与															
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄													
a															
①	地域材利用に関する 共通 ルール(必須)	広島県・岡山県は有数の木材産地であります。その地域材を使用した木造軸組工法を基に、主要構造(柱・梁桁・土台)の70%を使用する。	◎												
②	地域材利用の1棟当 たりの割合(必須)	<input type="checkbox"/> 50%未満 <input checked="" type="checkbox"/> 50%以上 <input type="checkbox"/> 80%以上	◎												
③	標準的な地域材の使 用部位(必須)	<table border="1"> <tr> <td>主要構造材</td> <td>土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>羽柄材</td> <td>間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>造作材</td> <td>枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>板材</td> <td>壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> </table>	主要構造材	土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している		柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している		梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している	羽柄材	間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	造作材	枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	板材	壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	◎
主要構造材	土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している														
	柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している														
	梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している														
羽柄材	間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している														
造作材	枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している														
板材	壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している														
④	地域材の流れ(フロー図) などグループの取組に關 する補足説明	《別紙添付資料あり》													
b															
①-1	地域材在庫把握の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が製材メーカー・木材流通企業に定期的に在庫状況を調査し、流通・施工構成員に情報を発信する。	○												
①-2	地域材価格の共有の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が製材メーカー・木材流通企業に定期的に在庫状況を調査し、流通・施工構成員に情報を発信する。	○												
②	グループ全体における地 域材の需給予測	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 定期的に事務局が施工構成員に現状の進捗状況を調査し、グループ内の需要予測をする。	◎												
c															
①-1	畳の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(1畳換算90枚)	○												
①-2	和瓦の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定坪数 100坪	○												
①-3	襖の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(3X6) 30枚	○												
①-4	障子の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(3X6) 30枚	○												
②-1	その他地域の伝統的な素 材の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 備後地域は木工産業が盛んであります。地域産業の活性化として、造作加工材に地域加工品を共通ルールとして必須仕様としています。	◎												
②-2	その他地域の伝統的な意 匠の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 木工産業が盛んなため造作・仕上材として地域木工加工品を積極的に活用し必須仕様としています。	◎												
d															
①	地域の伝統的なデザ インを継承する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 地域材を使用した木質化したデザインを推奨する。	○												
②	地域の住まい方の継承に つながる取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 地域コミュニティの交流を重視しグループが中心となって子供たち向けの感謝祭やイベントなどの開催により、伝統技術に理解や環境配慮の大切さを継承する。	○												
③	地域の街並み形成へ寄 与する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 外観において木質化を推奨することで色調や材料の工夫を施し、また植樹を多く取り入れた統一した街並みの形成へ配慮する。	○												
④	和の住まいの要素を取 入れた取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: グループとして推奨する地域材を利用した和の家具(地場産業の府中家具)が取り入れやすいように内装にも配慮する。	○												
その他	※上記項目以外でグループ独自の ルール・目標があれば記入 してください。	標準仕様書・共通資材リストによる担保、チェックリストによる使用状況の確認を事務局にて行う。またグループ(事務局・流通販売店)と建 材・資材メーカーによる、共通資材リストの内容を確認する。	◎												
カ. その他															
【平成30年度対応方針】			◎、○ 記入欄												
	東日本大震災の復興に資する取組	被災地の産業による商品や材料を建築時に出来る限り利用する。	○												
	平成28年熊本地震の復興に資する取組	被災地の産業による商品や材料を建築時に出来る限り利用する。	○												

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 福山地域活性家BINGO	(地域型住宅供給対象地域) 広島県・岡山県 備後地域
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 快適な備後の家をつくる会	(結成年) 2012 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0164-0642	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

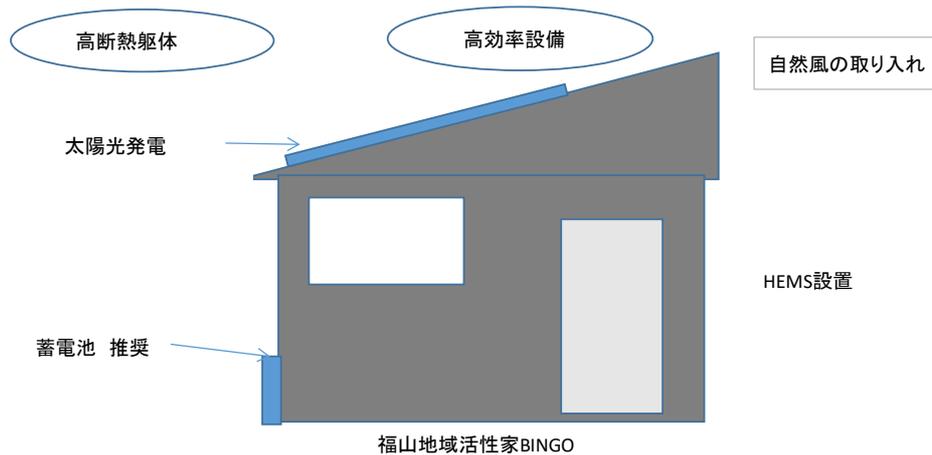
キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴

※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。

※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

＜認定低炭素住宅に対する取り組み＞

- 躯体性能は平成28年省エネルギー基準の外気性能と同等以上の性能を確保する。
 - 設備は高効率とすることに加え、開口部は滑り出し窓を適切に配置し自然風を多く取り入れることで中間期の一次エネルギー消費量を抑える。
 - 基準一次エネルギー消費量に比べ、一次エネルギー消費量(家電等のエネルギー消費量を除く)を10%以上削減する。
 - 福山地域活性家BINGOは木造及びHEMSが必須のため選択的項目は達成されている。
 - 節水型の器具や水栓を推奨仕様とする。
 - 太陽光発電、蓄電池の導入を推奨しエネルギーの効率的な利用を促進するため所有者に住まい方の工夫を促す。
 - 地域材を多く用いた在来工法でありながらも、省エネルギーの高い性能を有するよう断熱、気密、気流止めを適切に施工し、ランニングコストのシミュレーションを購入者へ提示することで認定住宅取得を理解して貰う。
 - 購入者の費用負担も配慮し、過度な仕様や器具の使用は控え、住宅取得後の購入者の健全なライフプランを実現できるよう専門家(FP)の相談も可能とする。
- ＜性能向上計画認定住宅に対する取り組み＞
- 躯体性能及び一次エネルギー消費量削減率は認定低炭素住宅と同一であり、認定低炭素住宅同様の考えで設計する。
 - 購入者の優遇税制を考えると、認定低炭素住宅が勧めやすいが、建設予定地によっては低炭素認定が取れない場合等勧めたい。



＜ゼロエネルギー住宅に対する取り組み＞

- 平成28年省エネルギー基準に準じた評価方法とする。
 - BELS認証による評価とする。
 - 福山地域活性家BINGOモデルの内容については以下の通りである。
 - 外皮は、ドアD2仕様、窓一重木製又はプラスチック製Low-E複層A10以上。
 - 設備内容・暖冷房は「主たる居室」と「その他居室」共にルームエアコンデショナー。
 - 排気はダクト式一種排気設備、熱交換型排気設備あり。
 - 給湯は電気ヒートポンプ給湯機、ふろ給湯機(追焚あり)。
 - ヘッダー分岐後のすべての配管径が13A以下、水栓は2バルブ水洗以外、高断熱浴槽を使用する。
 - 創エネルギー設備として太陽光発電を採用する。
- 申請物件により内容の変更はあるものとする。

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。